

令和2年度 第3回 学校運営協議会記録

日時：令和3年2月15日（月）15：30～17：10

場所：校長室

出席者：友谷委員、西田委員、速水委員、川上委員、西川委員

（真鍋委員は郵送による意見聴取）

佐々木校長、坂口教頭、轟事務長、今田首席、村上首席、住友指導教諭、
上田進路指導主事

1 会長挨拶、校長挨拶

〈 配布資料の確認と補足 〉

坂口教頭より

「大阪府立山田高等学校 学校運営協議会 実施要領」第10条について
8、9、10、11を追記。

2 令和2年度 学校経営計画及び学校評価について

・進路状況について（上田進路指導主事より）

12月末までの進路先決定の割合は61%であった。（昨年度同時期34%）

今年度は大学全体の志願者数も落ち着き、本校の大学受験者・合格者もいくつかの大学が中心となっている。全体的な特徴として「女子大回帰」が見受けられた。薬学部受験者は昨年同様に健闘している。（武庫川女子大・近畿大・神戸学院大・大阪医薬大など）短大は去年より減少したが、ほぼ例年並み。共通テスト出願者は192名（約50%）、受験者は155名（約40%）。

例年は私立大学のセンター利用も多いが、今年度は共通テストとの初年度でもあり、出願に慎重な態度も見受けられた。20名程度の生徒が共通テストを受験して国公立大の受験に挑んでいる。今週末に関関同立等主要大学の結果が判明する。

・生徒指導について（今田首席兼生徒指導主事より）

遅刻指導について

3年生の遅刻総数が数年にわたって減少してきたが、今年度は200名ほど増加した。1・2年生はほぼ昨年並み。来年度はクラス数が減り、生徒数も減少するので、遅刻総数も減少するのではないかと考えている。

交通安全指導について

登校指導は従来、年に6～7回実施しているが、今年度は4回であった。「自転車通信」も登校指導に合わせて4回発行した。通用門の内側に「止まれ」を表示して、通用門から出る際の注意を喚起した。2020年11月から保護者の方にも登校指導のお手伝いをお願いした。（1日5～6名程度）次年度以降も継続したい。

校長より学校経営計画達成状況・自己評価について

1 教育力の向上

・令和4年度の学習指導要領の改訂に向けて本校のカリキュラムがほぼ完成した。

観点別評価方法についても来年度の完成に向けて取り組んでいる。

- ベーシックタイム(毎朝の小テスト)を実施し自宅学習0時間をなくすことをめざしたが、3年生は12%が0時間であった。(12月時点)
- コロナ禍にあっても図書館利用者数が昨年度より増加している。これは利用しやすい環境が整備されていると認識している。
- SDG3 についても9回の講演とその都度のレポート発表を実施できた。CULTEKやZOOM、パワーポイントなどを活用したオンデマンド教材の活用、Google Classroomの活用による課題連絡やレポート提出などインターネットの活用が進んだ。
- 補講習については感染防止に留意しながら休日や放課後を活用して実施する一方、土曜日などを活用した補講習でも教員と生徒がインターネットを用いて自宅でやりとりすることもなどもできた。若手もベテランもオンライン授業に積極的に取り組んでいた。
- ICT活用の授業実践も進んでおり、96.3%が授業でPCやプロジェクタを活用しているというアンケート結果が出ている。また、密状態を避けて感染防止に努めながら可能な範囲でグループ学習にも取り組んだ。授業アンケートにおける「思考力・表現力が身についた」の平均肯定割合も目標の80%を上回った。10年目研修該当者が6名いたが、その全てが2回ずつの公開研究授業を実施できた。英検についてはコロナ禍のため校内実施をしなかった。学力実態調査も実施した。昨年度より向上している。

2 豊かでたくましい人間性のはぐくみ

- 部活動加入率は9割を目標とするも83.8%にとどまった。コロナ禍の影響も否めないが、むしろよく頑張っているとも思える。
- 修学旅行はいったん延期し、中止とした。体育祭は「レッツダンス」のみを実施し3年生の保護者のみの観覧とした。文化祭も規模を縮小し、生徒のみの実施としたが94.3%の肯定率であった。
- 遅刻は昨年度よりも総数として増加したが、服装や頭髪の違反者もほとんどいない。PTAと連携し、登校指導を実施。今年度も通学・帰宅途上の交通事故は複数発生しているが、幸いなことに重傷者はいない。自転車マナーはまだまだ十分とは言えない。登校が集中する時間帯の自転車マナーは特に悪く小中学生との交錯や自動車との接触を避けるような工夫が必要だと考えている。下校時も歩道を走行したり、逆走したりする現状をどう改善するかが課題である。学校規律については95.4%の肯定率であった。
- 保健部を中心とした感染症対策を十分に行った。水飲み場や水道の蛇口の取り替えなど環境の改善を行っている。清掃も概ね行き届いている。
- 生徒対象の人権研修は校長が講演を行い、教職員に対しても人権教育推担当教員が実施した。

3 学校の組織力の向上と開かれた学校づくり

- ・1年生は秋の大学見学会が実施できなかったが、校外学習を実施。
- ・2年生は修学旅行が中止となったため、3年次に思い出に残る行事ができれば良いと考えている。
- ・全校一斉退庁日・ノークラブデーも実施した。超過勤務80時間の教員の数はのべ25名であり、前年より減少した。小中学生対象の講座については感染症対策のため中止した。地域協議会や地域の行事についても5回のみ校長が参加。
- ・学校での説明会については例年の4回を、密状態を避けるため全体説明を行わず、自由に見学していただくなどの工夫をして8回実施。総計2322人の来校。7月予定の進学フェアや地区別進学説明会なども中止となった。ホームページの更新回数100回以上、メールマガジンによる発信を130回以上行った。PTA総会の委任状の提出などもWEBを活用した。
- ・コロナ禍の中でも「個々の生徒を伸ばす」という目標を一定以上果たせた。

(委員より意見・感想)

- ・全体的に見て、コロナ禍の中でもよく頑張っておられると思う。修学旅行中止で3年次に思い出に残るものということだが、具体的にはどのようなことを考えているのか。
- ⇒(事務局) 通常3年生は春にのみ校外学習を実施しているが、秋にも校外学習を予定している。修学旅行の延期も検討したが、進路保障の面から3泊4日の日程は確保が厳しく、教員の付き添い費用も府の予算では厳しい状況である。計画して再び中止となることが生徒に及ぼす影響を考えると延期ではなく中止とせざるを得なかった。3年次には思い出に残るものを企画したいと考えている。修学旅行2日目に予定されていたレクリエーション(有志による歌、ダンス、漫才など)を体育館で披露する場を修学旅行実施予定期間に設けた。
- ・図書館の利用者数が増加している理由は何か。
- ⇒(事務局) 安心して利用できるように環境整備としては週1回程度の消毒を行い、手指消毒液やアルコールティッシュなどを常備した。生徒も利用目的によって、自習室(209教室)、HR教室、図書室という分散ができたことによると思われる。
- ・遅刻の数が増えている理由をどのように分析するか。
- ⇒(事務局) 体調不良による遅刻が多い。不摂生による遅刻もあるのではないかと考え、その改善のために「体調改善シート」を設けて指導している。1・2年生には効果があったが、3年生にはあまり効果がなく、5分・10分の遅刻が目だった。
- ・教員の超過勤務を減らすための具体的な方法はどのようなものか。
- ⇒(事務局) 教員への声かけを主とし、精神的な負担を感じないように配慮している。月80時間以上の超過勤務をしている教員のほとんどは部活動を熱心に指導している方であり、教材研究や分掌・担任業務などが大きな負担となっているとは捉えて

いない。コロナ禍の中でもあり、教員と生徒の安全性を確保するという面からも「ノークラブデー」を徹底している。また、部活動の付き添いについても特定の教員に負担が集中しないように複数の顧問を分担するようにしている。将来的に部活動指導員事業が充実していけば教員の負担も減少すると思われるが、自ら部活動の指導をしたいという教員の思いも尊重したい。健康を損ねないように声をかけることが大切だと考えている。

- ・自身が経営している会社では「健康経営優良法人」をめざして、メンタルヘルスの相談窓口を設けているが、学校では管理職以外に相談窓口はあるのか。コロナ禍の影響か、取引先にも心の病になった方がいる。
- ⇒（事務局）養護教諭や安全衛生委員が相談窓口になっている。他にも大阪府教育センターにも窓口がある。産業医もその任にあるが、管理職としても教職員の声に耳を傾け、目を配るように心がけている。一般的に教員にも心の病になる方は多い。一人で抱え込むと精神的な負担となる状況は同じ。教科や学年などで情報を共有して風通しを良くすることが大切だと考えている。

- ・休めと言われても休めない現実がある。休める環境を作ることが大切だと思う。
- ⇒（事務局）企業の経営者と意見交換する機会があったが、学校では「やっても無駄」ということは少ないため、スクラップすることの難しさがある。どのように整理するかが問題である。例えば、今後は校外での学校説明会も担当分掌だけが担うのではなく、学校全体での取り組みに移行させていきたい。来年は2クラス減となることに伴い、教職員定数も減るが、その中でどのように取り組んでいくのかを考える必要がある。

3 令和2年度学校教育自己診断について（坂口教頭より説明）

- ・第2回学校運営協議会における会長の助言を受けアンケートの結果をカテゴリー分けすることで分野ごとの傾向がわかりやすくなった。アンケート回答へのお礼と結果・分析のフィードバックとして文書を2月12日に生徒を通じて保護者に配布し、本日ホームページにアップし、メールマガジンでも周知した。
- ・学校生活への満足度、学校が安心・安全な場であることの肯定的評価が概ね80%を超えている。授業・学習指導の肯定的評価は目標値80%には及ばなかったが7項目中6項目で75%を超えていた。情報発信については、メールマガジンを充実させることによってホームページへのアクセスが減少している面もあると考えている。

（委員より質問・意見・感想）

- ・「他の先生の授業を見学する機会が多くない」（生徒・教職員の回答より）、「担任以外に気軽に相談できる先生が少ない」（生徒の回答より）、「職員会議や諸会議が職員の意見交換の場として有効に機能していない」（教職員の回答より）というところが気になった。
- ⇒（事務局）授業見学については小学校が進んでいると聞いている。中学校・高等学

校は専門性があるため、なかなか見学する機会が設けにくい。法定研修も受講者がいると研究授業を実施しなければならないので授業見学の参加者は増える。来年度は午後に2つの学年の授業がない日を設定して、授業見学を行いやすくするように予定している。生徒からの相談については、個人情報に配慮しながら常に情報共有をしている。会議では時間的制約がある中で、連絡事項が多いのは事実。研修の場などで意見交換する機会を設けたい。

- ・先生方は授業をしながら、専門的な研究も行っているのか。授業や担任業務もある中で個人の研究をするのも大変だと思う。研究を発表する場はあるのか。
⇒研究会や研修会で熱心に研究に励んでいる教員もいるが、校内で研究成果の発表の機会を設けるのは時間的に厳しい。
- ・教員定数減とのことだが、教育活動のクオリティを維持できるか。生徒数が減っても教員の数が減るのでは、負担減にはならないのではないか。
⇒(事務局)教員定数は法律に基づいて、クラス数に応じて配置される。府立学校は府費で教員定数の加配を行っている。本校では少人数授業の加配をもらっている。生徒数の減少は部活動にも影響するので、思うように活動できるように工夫していきたい。

- ・部活動の活性化のためにはボランティアの協力も必要と思う。PTA、同窓会、後援会で何かできることはないだろうか。「アフターコロナ」の取り組みの検討をお願いしたい。
- ・「気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができていく」（教職員の回答より）ということは良いことだと思う。コロナ禍の中で懇親会ができなくなっているが、経験の少ない教員がベテランから学ぶ機会が確保できているか。
⇒教員採用試験に向けての面接指導や面談などでコミュニケーションをとっている。

(郵送による意見書提出があった委員からの意見)

- ・オンライン授業や例年に行きないうちの工夫などを行ってくれたことが生徒たちの満足度を高めることになったと思う。PTA活動が十分に行えなかったことは非常に残念だが、今後は新たな形で学校と協力していきたい。

4 令和3年度学校経営計画案について(佐々木校長から説明)

ベースとして「めざす学校像」は今年度のものを継承するが、「生徒を伸ばす学校」であるために「生徒を伸ばす教員」と「それを支える学校」でもあることを心がける。

(委員からの意見)

- ・「総合的な探究の時間」におけるSDGs研究の完成形として3学年の取り組みが揃うことに期待したい。また、オリンピック大会組織委員長の発言も踏まえて、SDGsの意味を改めて生徒に伝えてほしい。3年間研究した記念にSDGsのバッジを卒業記念品にするのも良いのではないか。
- ・ベントレーハイスクールとの交流については、オーストラリアへの派遣は中止すると

- のことだが、オンラインでの交流などの可能性も探って、学校間の絆を大切にほしい。
- ⇒(事務局) ペンパルや ZOOM その他によるコミュニケーションの可能性を探っている。
- ・自転車の交通安全指導について、近隣の危険な箇所では対策が必要と思う。近隣施設の再開発計画が具体化すれば、さらに対策も考えるべきではないか。
- ⇒(事務局) 以前にも警察や市役所など道路を管理・管轄する部署とも協議したが道路環境の改善はなかなか難しいものだった。生徒指導部を中心としてこれからも可能な限り登下校の安全指導を実施したい。
- ・図書館の利用についてもコロナ禍の中で人数が増えたのは良かったと思う。小学校では体調不良や不登校になる生徒が増えている。「アフターコロナ」を見据えた対策も必要だと思う。

5 諸連絡（坂口教頭より）

議事録のホームページでの公開について

以上